

事務事業評価表 平成25年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 工業の振興と産学官連携の推進
 基本事業 新規企業の立地促進

事業名 **起業化促進支援事業**

[0066]

部名	経済部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	対象
課名	企業立地推進室企業立地課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>起業を目指す市民 事業者</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>起業化に成功し江別市内で開業すること 施設入居企業が成長し業績を拡大すること</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>・起業化を目指す市民や新事業を計画する企業のための相談を受ける。 ・起業家に対し低廉な賃料のアンビシャスプラザの入居スペースを提供することで、ベンチャー企業を支援する。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	市民	人	122,138	121,705	121,385	121,385
対象指標2	市内事業所数	所	3,330	3,697	3,697	
活動指標1	起業に関する相談件数	件	27	15	30	25
活動指標2	提供可能区画数	区画	0	0	3	3
成果指標1	新規起業数	社	1	1	3	2
成果指標2	アンビシャスプラザ入居数	社	6	6	5	6
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	2,391	2,345	2,431	2,439
正職員人件費 (B)		千円	4,030	4,013	1,603	1,611
総事業費 (A) + (B)		千円	6,421	6,358	4,034	4,050

費用内訳	
24年度	報償費 174千円、旅費 23千円、使用料及び賃借料 2,234千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	江別の地域経済活性化を図るため、起業家の発掘と育成を通して、江別らしい新たなブランドづくりのきっかけの場となるように事業を計画した。	事業を取り巻く環境変化	江別経済ネットワークや大学・研究機関等の連携体制を活用し、起業家を発掘・育成するための環境が整っており、各種講座やセミナー等を通してPRできる状況にある。
--------	--	-------------	---

24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

地場産業の創造に結び付けるとともに活性化を図ることは、税収の確保・雇用の創出を図ろうとする政策的経費として妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

これから起業化を目指す市民や学生であるため、一定の時間を要す事業である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

地域ブランド作りのひとつの成功例が、起業化への環境づくりに寄与している。起業相談を重視して取り組んでおり、その中から新規開業につながっているものが出てきている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

前述のとおり起業相談に重点を置いて取り組んでおり、その結果、起業へとつながる事例が出てきているほか、企業の新事業創出へのアドバイスにも取り組んでいる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

本事業は、主として市内の大学との連携で進め、最低限の予算で進めているほか、アンビシャスプラザの維持に必要な固定費が大半となっているため、これ以上の削減はできない。